子供の思考力や表現力の考察

校長室だより

伸びるのだ　励むのだ

校訓　よく見る　よく考える　助けあう

R. 7.20(月)
NO. １２

算数

「13 桁の数を作ろう」４年　算数

大きい数を作りたい時は大きいのから並べる。理由は、9 が一番小さい一の位のところにあっても、一万の位と比べたら、万の位の方が大きくなるから、万の位、億の位には大きい数字の方が大きい数字になる。どんなに万の位に 9 を置いても億の位が 0 だったら一億より小さくなることが分かった。→位取りが分かっていて、どんな数が大きいのか説明が上手。

「小数(56.72 の 10 倍 10 分の１」５年

10 倍は、小数点が一つずれて位が一つ上がる 56.72→567.2

10 分の一は、小数点が一つずれて位が一つ下がる 56.72→5.672→右や左に小数点が動くという気付きのみならず、それは位が一つ上がる(下がる)という数の仕組みに言い及んでいる。一の位だったのが十の位になるという 10 倍の意味が分かっている。

(国語)なぜそう考えたか、本文の叙述を根拠に述べたり、(算数)一人調べや振り返りの算数日記で算数的な考えができたり…素敵です

国語

「自然のかくし絵」三年

僕はコノハチョウの隠れ方が面白かったと思いました。どうしてかというと、ふだんはきれいなのに止まった時に枯れ葉になるからです。筆者の写真のとりかたが、奥のほうはボケさせてとっていて、虫と止まっている物がとってあったり、虫をアップしていて面白かったです。コノハチョウを見たくなりました。↓隠し絵・擬態・保護色という言葉でなく隠れ方という独自の表現や写真資料への気づきが◎

「イースター島にはなぜ森林がないのか」六年

人間の文化で大切なことは子孫に深く思いをめぐらす文化を早急に築けるかだと考える。なぜなら祖先を敬うためにどれだけ高度な技術や文明があったとしても、子孫に残っている資源がなければそこで文明は途絶えてしまうからである。そのため私たちは、祖先を敬うと同時に子孫を深く思い、資源の使い方を見直すべきだと思う。子孫の幸せを願い、技術や文明を伝えていくために子孫を大切にし、今より進んだ文明を築いていくとよいと思う。↓筆者の主張と、今を生きる自分たちがなすべきことがよく読み取れている。

ホタルの幼虫

蛍飼育舎の水盤内には、卵からかえった幼虫が！

校医検診や心電図検査なども順次行われています

〈今週の言葉〉土用の丑の日（どよう・うし）

土用は年四回立春・立夏・立秋・立冬の前十八日間のことで、中でも丑の日を「土用の丑」と言います。今年の夏(立秋前)は七月二十一日と八月二日の二回。

七月十四日に国語・算数の基礎確認テストがありました。出来栄えは如何でしたか。漢字や計算という基本の力が身に付くよう、どこが弱いのか分析しながら今後も取り組みます。

一方で、「自分の考えを表現できる子」を目指しての授業も行われています。図や表・言葉で解き方をじっくり一人調べしたり、みんなの意見を聞いてさらに自分の考えを深めたり、頭がフルに働く授業が展開できるとよいと思っています。

暑さに負けず熱い授業を…。

＜7.21～8.7 までの日課＞

いつも通り通学班で登校

8:10～朝の会
8:15～8:35　1 時間目(20 分)
8:40～9:15　2 時間目(35 分)
9:20～9:55　3 時間目(35 分)
10:00～10:35 4 時間目(35 分)
10:40～10:50 清掃・帰りの会
11:00　一斉下校

給水タイムを設けたり、首を冷やしたり、傘をさしたり、熱中症対策をして下校します。